



美 唄

B i b o i

今だからいえるけれどスリル満点とはとても

今回の参議院選挙の開票には、随分冷汗三斗の思いを味わったものである。こんなことは、今迄の選挙では1度もなかったように思えてならない。前回迄と異なった投票方法が、知名度の点で、中原候補には不利との予想はしてはいたが、その予想があまりにも適中してしまい、29日夜半から30日未明にかけての開票速報は一喜一憂のドラマの連続で、日本全国の歯科界全体が振り廻され通しであった。結果的には当選したから良かったものの、決まるまでは、血圧は上がるし胃は痛くなるで、赤くなったり青くなったりで、今だからいえるけれど、とてもスリル満点だったなどといえなかった。物事万事、上を見ても切りがないし、下を見ても切りがないのが世の常というもの。下位であっても、当選したことを最大の喜びとして今後における前進を誓うしか仕方がない。一步後退二歩前進とは、現在の歯科界にこそ相応しい言葉でもあろうか。聖域なき改革という言葉に医療界も?の思いは深い。歯科界の更なる団結と、中原議員の今後におけるご活躍を祈念して止まないものである。

(雨田 実記)

健康ふれあいフェスタ2001

7月15日(日)美唄市総合福祉センター・保健センターにおいて、「健康ふれあいフェスタ2001」が開催されました。

例年通り歯に関する健康相談、さらに昨年に引き続き歯科ドックの中の「口臭検査」「咬合力テスト」「RDテスト」を、歯科医師は吉村治範先生と

私、さらに2人の歯科衛生士で行いました。

「今年は歯科の方に力を入れていただきますのでよろしく願います」とは聞いておりましたが、ステージのある体育館のような研修室で、ビデオプロジェクターによる歯に関するビデオ上映、歯に良いおやつや栄養相談、口腔衛生用品の展示も同時に行われました。

広さに圧倒された感はありましたが、気を取り直して始めたところ、道歯から借り受けた歯科ドック検査器具の、アテインアダプターが30人分しか入っていなかったため(予定では150人分)、口臭検査は直ぐに終了。また咬合力測定器の電池も切れ、吉村先生があわてて買いに行くというアクシデントもありました。

ご来場下さった方々は60歳代が中心でしたが、家族連れの方も見られ、親子で楽しそうに検査を受けている様子も見受けられました。日頃こういう機会は少ないので、口腔に関心を持っていただくのには良い機会だったのではないのでしょうか。

結局一項目以上の検査を受けられた方が114人で、中には前年受けられ、今年の検査を待っていた、とおっしゃっていたりピーターの方々もおり、関心が徐々に高まってきているとともに、この催しも定着してきているように感じました。

午後からの雨のためか、急に人出が減少したことや、口臭検査を大半の方にお断りしたことが悔やまれましたが、和やかな雰囲気の中、盛況のうちに終わったのではないかと思います。

途中心配で様子を見に来てくださった小森先生、



大坪先生そして桜田さん、ありがとうございました。

また吉村先生、衛生士さん、美唄市のスタッフの皆さん大変ご苦労様でした。

(平 和隆記)

学校図画・ポスターコンクール

7月19日(木)美唄市教育委員室において、美唄歯科医師会主催、美唄市教育委員会後援にて、学校図画・ポスターコンクールの審査を行いました。

これは道歯主催「北海道・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」に連動して行われるも

ので、最終的には日本学校歯科医会主催の企画に出品参加の機会が与えられるもの。市教育委員会からは教育長・教育部長・指導主事、また校長会からも2名の校長、美唄歯科医師会からは宝崎会長、市の教育委員も兼務されている宝崎幸子先生と小生の計8名により審査選考を行いました。前途洋々たる小学校児童の口腔保健に関する図画やポスターは、絵の上手な人からアイデアの面白いのまで、種々大変沢山参加していただき選考に困る程でした。

写真はその時の選考風景の一スナップ。

(小森英世記)

